

令和6年7月19日

終業式の挨拶

校長 豊岡 耕一郎

皆さんおはようございます。

今日で1学期も終わり、いよいよ夏休みです。1学期の大きな学校行事であった体育祭も、体育祭執行部を中心とした皆さんの頑張りのお陰で無事終了することができました。特に閉会式の最後に皆で肩を組んで大きな輪になって校歌を合唱している様子は、参観してくださった保護者の方々に大きな感動を与えたようです。次は文化祭です。今年は地域の方々や、多くの中学生やOBの方々が来場することが予想されます。部活などで忙しいこととは思いますが、皆で協力して細部にまで工夫を凝らし、見に来てくださった方々に感動を与えられるような演目を期待しています。

さて、7月11日に7年ぶりに行われた母校応援はいかがだったでしょうか。暑い最中、一生懸命に応援をリードしてくれた吹奏楽部、チアリーディング部にはもちろんのこと、一緒になって大きな声援を送ってくれた皆さんに改めて感謝したいと思います。あのよう学校全体が一丸となって応援することのすばらしさを感じることができて大変感動しました。アンケート結果からも、ありがとう、感動したとの感謝の気持ちがあふれており、皆さんの素直で優しい気持ちが伝わってきてこちらも感心しました。他にも、この応援を通して皆さんが雪高生としての誇りを自覚し、それぞれの置かれた立場において、自分たちも一生懸命頑張ろうと、応援されるようになろうと感じてくれたことも大変うれしく思います。実際今年は、引退が懸かった部活動の試合で、部を超えて応援する姿を多く見かけました。中には、このような応援の中で試合をしたいと思ったという意見もありました。もっともな意見です。やりましょう。ただ一つだけ問題があって、そこが千人を収容できる会場かどうかです。それを考えると東京体育館でしょうか、それとも駒沢第二球技場でしょうか。それが実現できることを考えると私もワクワクしてきます。いずれにしても雪谷高校が、皆さん一人一人が懸命に努力し、それを周りのみんなが応援する学校であり続けて欲しいと切に願っております。また、皆さんも気づいたと思いますが、今年はお隣の松仙小学校の子供たちから野球部に対しての応援メッセージを頂きました。これは野球部だけが頂いたメッセージではありません。雪

谷高校全体を応援する気持ちがなければ、普通このようなメッセージはいただくことはありません。ですから皆さん一人一人が期待され、憧れの存在であるということを意識して日々行動してください。

さて3年生にとって、この夏休みは君たちの人生を左右する大きな時期、正念場ですね。これまでの努力の成果や、部活で培ってきた根性・集中力を今こそ発揮するときです。模試の結果は気にせず、焦らず計画的に、あり得ないくらい勉強に励んでください。その成果は必ず2か月後には出てきます。そこには必ず成長した自分がいます。既にスイッチが入っている人も多く出てきており、毎朝の登校の様子や放課後の過ごし方などで、顔つきがだんだん凛々ようになってきたと感じています。頑張ってください。

最後に大変重要なお話をいたします。以前にもお話ししたと思いますが、それは性暴力についてです。

性暴力とは、相手が嫌がっているのに、性的な言葉を言ったり、体を触ったり、見せつけたりする等、性的な言葉や行動で、人を傷つけることです。体に直接触る行為だけでなく、LINEやメールで性的な言葉を送って、人を傷つける行為も性暴力に含まれます。性暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。もし、自分が性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったら、声を上げるなり、逃げるなどの行動をとってください。そして、決して一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や担任の先生、養護の先生、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に相談することを行ってください。

もし学校の先生や大人にも秘密にしたい場合は、HRで配られる相談シートを活用してください。相談窓口に連絡すれば、皆さんの相談に親身に乗ってくれますし、この用紙に相談したいことを書いて、糊付けをすれば、切手無しでも郵送で相談することができます。

自分が、性暴力を受けていなくても、友だちが性暴力を受けるのを見たときも、迷わず相談してください。

私はもちろん本校の先生方は、生徒皆さんの体と心を大切に守りたいと思っています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、相談してください。

それでは、体調にはくれぐれも気を付けて、2学期始業式には、皆さん元気な笑顔を拝見できることを楽しみにしています。